



よもと



学校だより No.4
令和5(2023)年7月14日
草津市立草津第二小学校
<http://www.kusatsu2-p.sk.ed.jp>

自ら考え、すすんで行動する子ども
～ どんどんチャレンジ! やればできる ・ 思いやりとありがとうの心で ～

1学期 子どもたちの学びと成長をふりかえって

早いもので、もうすぐ1学期が終わろうとしています。4月の新年度スタートから、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に多大なご支援・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。今回の学校だよりでは、学校教育目標実現に向けて1学期に取り組んだ教育活動を紹介いたします。

<「豊かな心—関わる力を育てる」～こころで感じる体験活動～>



1年生 「あさがおをそだてよう」朝の水やり

ぼみがついたよ。明日は咲くかな？」などと、思わず声に出して喜ぶ子どもたち。その姿から、子どもたちの中に、『自分が、毎朝、世話を続けたからアサガオが大きくなった』という自信が生まれたと感じます。アサガオとの関わりを通して、子どもたちもたくましく成長しました。

6年生の子どもたちは、プロの陶芸家から指導を受けて、作陶体験に取り組みました。この写真は、自分が作ったお皿に絵付けをしているところです。

これまでに、有名な陶芸家の作品を鑑賞したり、自分が皿に描こうと考える下絵を描いたりして準備を重ね、いよいよこの日が本番。

「うまく描けるかな？」と不安な気持ちもあったと思いますが、この写真からは「描きたいものを描く」という思いの強さが伝わってきます。陶芸家の方々との出会い、作品を味わう「関わり」を通して、自分の中にある「思い」や「願い」、「自分らしさ」を表現する貴重な体験になりました。



6年生 総合的な学習の時間「作陶体験」

このほかの学年でも、2学期以降にこうした「こころで感じる体験活動」を計画しています。保護者の皆様には、準備物などのご協力をどうぞよろしく願いいたします。

<「読み解く力を発揮し、主体的に学ぶ子の育成」>

本校では昨年度から草津市が推進している「New 草津型アクティブラーニング実践支援事業」を受けて、ICTを効果的に活用し、主体的に学ぶ子の育成に取り組んでいます。

5月の学校だよりでお知らせしましたように、今年度は個人用のタブレットペンを活用しています。子どもたちの様子を見てみると、より「文房具」としての使いやすさを感じているようです。右の写真は、社会科で学習した「漁港の工夫」について気づいたこと・考えたことを、班の友だちとタブレット上で交流してまとめているところです。

このように、タブレット上で互いの考えを双方向で意見交流することが、学習内容の深まりにつながっています。学習中の子どもたちは、「〇〇さんの意見は、私の意見と似ている。」「△△と、テーマをつけて、まとめられるね。」などと、活発に意見交換していました。2学期からも、さらに教育活動を充実させて、主体的な学びの姿を高めていきたいと思えます。

～効果的なICT活用～>



5年生 社会科：班の友だちと考えを交流した後、似ている意見をまとめる。

<夏季休業中の学習者用コンピュータの活用について(お願い)>

- 夏季休業中、学習者用コンピュータを自宅に持ち帰り、ICTを活用した家庭学習の充実を図りたいと考えています。課題の内容は、各学年からお知らせします。

<ご確認ください>

- 本体の取り扱いについての注意事項や安全で適切な活用の仕方などの「活用のルール」を、7月7日付文書で詳しくお知らせしています。
- 小学生用 ipad は、長期休業中のみ「スクリーンタイム」という使用制限を保護者が追加することができます。設定手順等は、7月10日付文書でお知らせしました。お子様と話し合っていたいただいた上で、適切なICT活用のために使用制限機能をご活用ください。

※詳しい文書は、草津第二小学校ホームページ「その他のおたより」に掲載しています。

レイカディア大学同窓会草津・栗東支部のみなさんに、月1回、ボランティアで校庭の樹木を整備していただいています。

7/11には、校門横の藤棚を剪定していただきました。厳しい暑さの中、美しく整えていただき、本当にありがとうございました。

